



キッズサポート

ぱれっと



支援を哲学するお話①

「知行合一（ちぎょうごういつ）」

知行合一とは中国で発展をした陽明学という思想哲学の考え方です。
知る（知識）と行う（行動）は、それぞれが一つになる事で初めて完成をします。

人に何かを伝える時に「意味」と「方法」の2つが大切になります。
何故それをしなければいけないのかという意味や意図。具体的にどの様にすれば良いのかという方法。両方がしっかりと伝わり、自発的・能動的に行動をしてもらう事が理想ですね。しかし、同時に伝えたとしても同時に伝わる訳ではありません。（なんだかややこしいですが…）では、どちらを先にすれば良いのか？

理想で言えば、意味や意図をしっかりと理解した上で納得をして行動をしてもらう事。ただ、現実には行動が先になる事・させてしまう事の方が多いです。（とりあえずやってみて！）

これを、子どもの支援に置き換えた時にはどうなるでしょうか。
どちらを先にするのか？それは、その子の特性によって変えています。

例えば、

- ・言葉の発達がゆっくりで、行動にこだわりがあるお子さんの場合
先に「行動」や「具体的な方法」を体験的に伝えます。大人が手本を見せ、実際に身体を動かす事で行動パターンを確立します。

- ・逆に理由に納得をしないと行動に移せない子には、何故それをしなければいけないのか。その行動をする事で自分や周りにとってどの様な良い事があるのか。などを言葉だけではなく、図や絵を用いながら視覚的に伝えます。

これら以外にもありますが、説明や伝えはその子が何に一番アンテナを張っているのかがポイントです。

この流れは必ずしも毎回上手く行くとは限りません。考えて、挑戦を繰り返しながら少しずつステップアップをしていきます。

人が成長をしていく時に、知識と行動という2本の柱の間を、階段をそれぞれ行き来しながら上がって行くサイクルを作る事で、新しく「知る」「身に付ける」事が「楽しく」「嬉しく」感じられる様になって行くのではないのでしょうか。

児童通所課 嵯峨憲司

キッズサポートぱれっと

埼玉県狭山市新狭山2-15-7高橋ビル2F

TEL : 04-2936-9460



キッズサポートぱれっと 9月活動報告



廃材で
ピンボール
制作

Design baseから廃材を分けて頂きました。高学年と低学年で作り方を変えています。高学年は、金づちや釘の使い方を学習しながら行い、低学年は小さな木々を箱の中から探しボンドでコースを完成しました♪



手作りバター

材料は、生クリーム・塩だけをペットボトルに入れてひたすらシェイクします。すると、生クリームが分離して美味しいふわふわなバターの完成です★食パンに塗って美味しく頂きました😊



ポーセリン

初のポーセリンに挑戦！
白い陶器（マグカップ）に特殊シールを貼って窯焼きをして頂き世界に1つのカップを作りました😊



古布でぞうり作り

着なくなったTシャツをハサミで切って引っ張ると少し丸まった紐状態になり「ヤーン」と言う物に代えてぞうり作りに挑戦中です。

11月の予定

【土曜日活動】

5日：MJフレンドパーク

12日：マナーを学ぼう

19日：工作（ハロウィン）

26日：外出

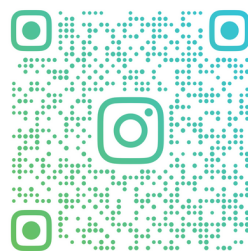
【祝日活動】

3日：山登り

23日：芋掘り

※芋の状態をみて、日程が少し変更になる事もあります。

活動の様子は
INSTAGRAMから



MELPHIS_INC